「保健医療科学」
第65巻　第１号　予告

特集：「2025年問題」に対する公衆衛生の役割：国立保健医療科学院のミッション

「2025年問題」とは何か：公衆衛生が直面する問題の諸相（仮題）…… 今井博久，曽根智史
疾病予防分野から：地域の疾病予防と重症化予防に向けた連携強化（仮題）…… 今井博久
福祉介護分野から：多職種多分野連携による地域包括ケアシステムの構築（仮題）…… 森川美絵
人材育成分野から：超高齢社会における公衆衛生看護の人材育成の推進（仮題）…… 松本珠実
居住環境分野から：安心安全な高齢者の「住まい」の整備（仮題）…… 阪東美智子
地域ケアシステムの構築における“連携”の課題と“統合”促進の方策（仮題）…… 成木弘子
総括および今後の課題（仮題）…… 曽根智史

編　集　後　記

現代社会において生活環境には電磁波があふれている．電磁波の健康への影響についての議論は1979年に高圧送電線の近くに住む子供に白血病発生率が高いことを米国の疫学者が報告したことが始まりとされている．その後，1990年代に入ると携帯電話の普及に伴い，電磁波の健康への影響について危惧する人が世界的に急増した．電磁波は目に見えないこともあり，放射線と同じように人々に不安を与えやすい．

今日，電磁波の健康への影響についてはWHOをはじめ国内外の研究機関が多岐にわたる研究を行っている．本特集では近年急速に普及したスマートフォンも含めて最新の研究成果をわかりやすく紹介した．

特集でも解説されているように，リスクマネジメントにおいてはリスクコミュニケーションが非常に重要である．本特集で取り上げた電磁波の健康への影響に関する最新の科学的知見が公衆衛生や保健医療の従事者ならびに電磁波へ不安を抱く多くの人々のリスクコミュニケーション推進の一助となれば幸甚である．

（医療・福祉サービス研究部　玉置洋）